

環境にやさしい農業を目指し!

茨城県エコファーマーとして
新たに115人が認定される

3月2日、谷和原保健福祉センターにおいて、茨城県エコファーマーの認定式が、市内の各団体代表の方や個人農家の方9人が出席し行われました。今回新たに115人の方が茨城県知事の認定を受け、市内の合計192人となりました。

茨城県では、化学肥料や農薬の多用により生じる環境汚染や農地の生産力低下が、大きな問題となっていることから、環境に配慮しつつ農地の生産力を維持・増進する農業が求められています。

そのためバランスの取れた持続性の高い農業生産に取り組む方を育成するため、「土づくり」、「化学肥料低減」、「化学農薬低



認定式の様子

②水田農業構造改革対策（転作等）にかかわる加工用米作付面積は対象となります。ただし、青刈り稲の作付け分は対象としません。

③平成21年度水田農業構造改革対策で転作等目標面積を100%達成している農家を対象とします。

●対象病害虫
イネミズゾウムシ・ドロオイムシ・いもち病・もんがれ病

麦の赤かび病防除薬剤補助申請

麦の安全性・品質の確保・生産性の安定を図るために、被害の軽減対策を講じた農業者・生産集団に対して補助金を交付します。

●交付要件
①水田農業構造改革対策で転作等目標面積を100%達成した者の田畑で麦の作付けをする農業者、生産集団を対象とします。

なお、麦の作付けをする農業者、生産集団においても、転作等目標面積を100%達成した方に限りません。

②平成21年度麦の作付面積が対象となります。ただし、未收穫分の面積は対象となりません。

③平成21年度麦の作付けに使用された所定量の薬剤とします。

（農薬取締法の規定に準じるも

水稲初期病害虫防除薬剤

（箱苗用）補助申請

経営および良質米の生産の安定を図るために、水稲病害虫の防除対策として、田植え前の箱苗に薬剤を使用した稲作農家および生産集団に対して補助金を交付します。

●交付要件

①水田農業構造改革対策（転作等）実施面積を除いた水稲作付面積を対象とし、平成21年度作付け苗に使用された所定量の薬剤とします。（農薬取締法による登録された箱苗用薬剤とし、10ヶ当たり1詰まで）

平成21年度

市の人事異動

4月1日付け人事異動で課長補佐級以上の者を掲載しています。

※（ ）内は旧所属および前職

◎総務部

◆部長 古谷安史（市民経済部長）

◆企画政策課 課長 間根山知己（社会福祉課長）

◆総務課 課長 堤有三（税務課長）

▽課長補佐 飯泉勝宏（学校教育課長補佐）

●財政課 課長 大久保明一（都市計画課長）

▽課長補佐 古谷隆夫（同課主査）

●人事課 課長 森仲次（同課長補佐）

▽課長補佐 中村滋成（農政課主査）

●税務課 課長 沖田照雄（介護福祉課長）

◎市民経済部

◆部長 中川修（参事兼人事課長）

●市民窓口課 課長補佐 小菅美智子（同課主査）

●農政課 課長補佐 倉持尊志（都市計画課主査）

●産業政策課 課長 奈幡優（総務課長補佐）

▽課長補佐 須加尾博司（生涯学習課長補佐）

●生活環境課 課長 張谷昌彦（財政課長補佐）

◎保健福祉部

◆部長 湯元茂男（総務課長）

●社会福祉課 課長 長塚工（下水道課長補佐）

●すこやか福祉館 課長 沼尻修（生活環境課長）

●介護福祉課 課長

申問 谷和原庁舎農政課

☎58・2111

（内線8157）